

応募資料作成要領

「補強土壁の点検支援に関する技術」の技術公募

1. 応募に必要な書類

応募にあたっては、以下の資料が必要となる。様式については、一般財団法人土木研究センターのホームページ (<http://www.pwrc.or.jp/>) よりダウンロードすることができる。

応募書類に使用する言語は日本語とする。やむを得ず他国の資料を提出する場合は、日本語で解説を加えること。

- ①「補強土壁の点検支援に関する技術」申請書(様式－ 1)
- ②技術概要書(様式－ 2)
- ③点検(調査)実績内訳書(様式－ 3)
- ④調査票(様式－ 4)
- ⑤添付資料(任意) ※通し番号を記入すること
- ⑥電子データ(様式－ 1, 様式－ 2, 様式－ 3, 様式－ 4 及び添付資料の電子ファイルを収めたCD－R)・・・1 式 ※応募書類を郵送あるいは持参する場合

※応募書類を E-mail で提出する場合は提出資料①～⑤を添付し、10MB 未満となるように分割すること。なお、応募技術の選定後、提出資料の全てあるいは一部を紙媒体等による提出を求める場合があるので、予め了承願いたい。なお、押印した書類(様式1)については後日速やかに郵送または持参にて提出すること(締切日以降で可)。

※応募書類を郵送あるいは持参する場合は、提出資料①、②、③、④はA4版(片面)とすること。提出資料⑤の添付資料も、原則A4版(片面)とするが、パンフレット等でA4版(片面)では判読できない等の不都合が生じる場合は、この限りではない。

※①、②、③、④、⑤は、まとめて1部とし、左上角をクリップ等で留め、合計3部(正1部、副2部)提出すること。なお、⑥は1部提出すること。

※選定にあたって新たに必要となった資料(追加資料)の提出等を、応募者に求めることがある。

2. 各資料の作成要領

(1)「補強土壁の点検支援に関する技術」申請書(様式－ 1)

1) 応募者は、応募技術を中心となって開発した「個人」又は「民間企業」とする。応募者が「個人」の場合は、所属先と役職並びに氏名を記入の上、本人の印を押印すること。

また、応募者が「民間企業」の場合は、企業名とその代表者の役職並びに氏名を記入の上、企業印及び代表者の公印を押印すること。

申請書のあて先は、「一般財団法人土木研究センター 理事長 宛」とする。

2)「1. 技術名称」は、NETIS に申請(NETIS 登録申請中)・登録した技術名称とすること。また、今後登録申請予定の場合は、下記を踏まえ、30字以内でその技術の内容及び特色が容易に理解できるものとし、商標等も記入すること。

- ・申請する新技術の名称をフルネームで記入すること。
- ・商標登録されていないか、既に NETIS に登録されている他の技術の技術名称と同一でないか確認すること。
- ・また、名称に「新」を付けたり、型番や会社名を入れないこと。

「(副題)」は下記を踏まえ、申請する新技術の用途等を明確にした「技術副題」を記入すること。

- ・技術名称だけでは不明なものを補完し、技術内容が十分把握できる副題。
- ・特にその技術の「売り」になっている内容を記載した副題。

3) 「2. 窓口担当者 (選定結果通知先)」は、応募にあたっての事務および技術の窓口担当者1名を記入すること。

応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者1名を列記するものとするが、応募者の代表は最初に記載するものとする。

なお、応募者が複数の場合は、選定結果の通知は、代表の窓口に送付する。

4) 「3. 共同開発者 (個人・民間企業・行政機関等)」は、共同開発を行った応募者以外の個人や民間企業、行政機関等について記入すること。なお、共同開発者がいない場合は、記入しなくてよい。

(2) 技術概要書 (様式-2)

1) 技術名称及び副題は (様式-1) と同一のこと (技術名称は必須入力)。

2) 技術の概要として下記項目を箇条書きで簡潔に記入すること (項目名を除き総文字数 200 字以内)。

- ①計測原理等
- ②比較対象となる従来技術
- ③従来技術に対する優位な点等

3) 技術の概要図は、下記を踏まえ計測等の原理や計測時の様子がわかるものを枠内に貼付すること。

- ・枠の拡大は不可 (他の項目の枠の拡大は可)
- ・技術比較表等に掲載する場合には、縮小することがある
- ・既存の図の貼付で可 (本申請のために作成する必要は無い)
- ・比較表に掲載されて公開されることを前提に権利上等の問題が生じない画像とすること

4) 技術の詳細は、以下の目次構成にしたがって記入すること。

①応募技術の特徴

応募技術の特徴について、箇条書きで簡潔に記入すること。

なお、必要であれば、参照資料を添付し、参照する資料の番号、ページを記入すること。

②応募技術が画期的な点

応募技術が従来技術等と比べて画期的な技術である点を、箇条書きで簡潔に記入すること。

なお、必要であれば、参照資料を添付し、参照する資料の番号、ページを記入すること。

③応募技術を使用する場合の条件 (注意点) など

応募技術を適用する場合の制約条件、注意点等があれば、箇条書きで具体的に記入すること。

④活用の効果

従来技術に対する優位性、及び、活用した場合に期待される効果 (想定でも可) を箇条書きで簡潔に記入すること。

⑤NETIS 登録

該当箇所の□にチェック (✓) すること。また、NETIS へ登録済みの場合は、登録番号を記入すること。なお、NETIS への掲載期間が終了している場合は、掲載時の登録番号を記入すること。

NETIS に登録申請中の場合は、申請先の地方整備局名及び技術事務所名を記入すること。

⑥特許等取得情報 (参考)

特許等取得は、応募技術の実施に必要な特許及び実用新案等の情報に関して、該当箇所の□にチェック (✓) すること。

なお、この項目は参考のため使用し、選定・評価に影響はない。

⑦第三者機関等による証明 (建設技術審査証明等) (参考)

該当箇所の□にチェック（）した上で、応募技術が建設技術審査証明事業における審査証明書、又は、土木学会等の第三者機関より技術に関する証明を取得されている場合は、制度の名称、その他の必要事項を記入すること。

また、応募技術が建設技術評価規定（昭和 53 年建設省告示 976 号）、又は港湾に係る民間技術の評価に関する規程（平成元年運輸省告示第 341 号）に基づいた評価等を取得されている場合は必要事項を記入すること。

なお、この項目は参考のため使用し、選定・評価に影響はない。

⑧表彰経歴（参考）

該当箇所の□にチェック（）した上で、応募技術が過去に他機関で実施されている表彰制度等で表彰を受けている場合は、表彰制度名、受賞名及び受賞年を記入すること。（複数あれば、複数）

なお、この項目は参考のため使用し、選定・評価に影響はない。

⑨点検（調査）実績（参考）

該当箇所の□にチェック（）した上で、応募技術のこれまでの点検等の実績（試験を含む）件数を対象が補強土壁とそれ以外に分けて、発注機関毎に記入すること。また、「新規構造物に適用が限定される技術」は、施工されていれば点検（調査）が未実施でも実績に加えること。

点検等の実績（試験を含む）の有無にかかわらず、「様式-3 点検（調査）実績内訳書」に必要事項を記入の上、提出すること。

なお、この項目は参考のため使用し、選定・評価に影響はない。

⑩添付資料一覧

添付する資料名を本様式に記入すること。

応募技術のパンフレット等を作成している場合は、添付資料-1 として添付すること。また下記に示す添付資料-2～5については、該当する場合に必ず添付すること。

添付できない場合は、その理由を添付資料名の欄に記入すること。

- ・添付資料-1： 応募技術のパンフレット（作成している場合のみ）
- ・添付資料-2： 応募技術の計測の原理や精度とその根拠を記した技術資料
- ・添付資料-3： 特許等の公開・公告された写し（特許等を取得している場合）（参考）
※公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみコピーすること。
- ・添付資料-4： 公的機関の評価等の写し（建設技術審査証明・技術評価等を取得している場合）（参考）
- ・添付資料-5： 表彰状等の評価等の写し（表彰経歴がある場合）（参考）

なお、各添付資料の先頭に表中の添付資料番号（例：添付資料-1）を付けること。

また、添付資料-1～5の中で該当する資料がない場合は、本様式に「添付資料-〇：該当資料無し」と記入し、その他の資料を添付する場合は、添付資料-6から順に添付資料番号を付け、一覧表に追加するものとし、添付資料番号を繰り返さないこと。

(3) 点検（調査）実績内訳書（様式-3）

応募技術のこれまでの点検（調査）実績（試験を含む）について、最新のものより10件まで記入すること。

また、実績がない場合は、「実績なし」と記入し、提出すること。「新規構造物に適用が限定される技術」は、施工されていれば点検（調査）が未実施でも実績に加えること。

なお、「試験のみ」の場合は、試験の報告書を提出すること。

(4) 調査票（様式－４）

調査票（様式－４）には、リクワイヤメントに基づいた応募技術の技術内容を記述する。

調査票（様式－４）の作成にあたっては、同（様式－４記入例）を参照のこと。

調査票（様式－４）の作成にあたっては、各項目について「空欄」や「無回答」とはせず、「実施データなし」、「定めていない」など、必ず何らかの回答を記載すること。

調査票（様式－４）の作成にあたっては、該当する選択肢がない場合は追加してよい。なお、その場合は、追加した項目を朱書きとすること。

調査票（様式－４）については、必要に応じてその技術内容の根拠となる資料を添付すること。なお資料を添付する場合は、参照する資料の番号、ページを、調査票中の「資料添付有無」欄に付記し、また資料番号を様式－２⑩項に記載のこと。

(5) 添付資料（任意）

応募技術の説明に必要な資料があれば、（４）項の要領に従い添付すること。

3. 問い合わせ先

応募資料作成にあたり、不明点があれば、下記にて受け付ける。

〒300-2624 茨城県つくば市西沢２－２

一般財団法人土木研究センター 技術研究所 土工構造物研究部

テーマ設定型（技術公募）担当 宛

TEL：029-864-2521（代表）、FAX：029-864-2515

E-mail：netis-hokyodo@pwrc.or.jp

以上

「補強土壁の点検支援に関する技術」申請書

令和 年 月 日

一般財団法人 土木研究センター 理事長 殿

応募者名：

(代表者)

印

所在地：

電話：

(応募者が複数の場合は、応募者毎に必要な事項を列記する。)

下記の技術を「補強土壁の点検支援に関する技術」として応募します。
また、応募に際して、別紙-2”「補強土壁の点検支援に関する技術」の技術公募 公募要領”の記載事項に従うとともに、同公募要領2. 及び3. の要件を全て満たしていることを宣誓します。

記

ふりがな

1. 技術名称：

(副題)：

2. 窓口担当者 (選定結果通知先等)

法人名：

所属：

役職・氏名：

所在地：〒

電話：

F A X：

E-Mail：

(応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者1名を以下同様に列記する。その場合、最初に記載した窓口担当者を代表窓口担当者 (選定結果通知先) とする。また、応募者が複数の場合でも、選定結果の通知は、代表窓口担当者宛のみに送付する。)

3. 共同開発者

法人名等：

所属：

役職・担当者：

所在地：〒

電話：

F A X：

(共同開発者が複数の場合は、共同開発者毎に必要な事項を列記する。)

本様式は、2ページ以上になっても構いません。

技術概要書

(様式-2)

1/0

<p>ふりがな 技術名称</p>	
<p>(副題)</p>	
<p>技術の概要 (項目名を除いた総文字 数200字以内)</p>	<p>①計測原理等 ②比較対象となる従来技術 ③従来技術に対する優位な点</p>
<p>技術の概要図 ※枠の拡大は不可 ※技術比較表に掲載する 際には縮小する場合がある</p>	
<p>技術の詳細 (箇条書きまたは参照資 料番号・ページを記入)</p>	<p>①応募技術の特徴 ②応募技術が画期的な点 ③応募技術を使用する場合の条件（注意点）など ④活用の効果</p>

※この様式が1枚に収まらない場合は、複数枚に分割して作成しても構いません。

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

技術概要書

様式-2
(2ページ目以降)
2/0

ふりがな 技術名称							
(副題)							
⑤NETIS登録	<input type="checkbox"/> 登録済 (登録番号:)			<input type="checkbox"/> 登録申請手続き中 (地方整備局及び技術事務所等名:)			
	<input type="checkbox"/> 掲載期間終了技術 (旧登録番号:)			<input type="checkbox"/> 今後登録予定 (年 月ごろ)			
【参考】							
⑥特許等取得状況	特許	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 出願中	<input type="checkbox"/> 出願予定	<input type="checkbox"/> 無し	取得年	年
	実用新案	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 出願中	<input type="checkbox"/> 出願予定	<input type="checkbox"/> 無し	取得年	年
⑦第三者機関等の証明等 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	制度の名称			証明機関			
	証明番号			証明年月			
⑧表彰経歴 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	表彰制度名:						
	受賞名:					受賞年度: 年度	
⑨点検(調査)実績 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	補強土壁	国土交通省:	件	その他公共機関:	件	民間:	件
	補強土壁以外	国土交通省:	件	その他公共機関:	件	民間:	件
	「新規構造物に適用が限定される技術」は、施工されていれば点検(調査)が未実施でも実績に加えること 点検等の実績(試験を含む)の有無にかかわらず様式-3点検(調査)実績内記書に記入し提出すること						
【⑩添付資料一覧】様式以外の添付資料の一覧を記入							
添付資料-1	添付資料-1 (パンフレット: 作成している場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入)						
添付資料-2	添付資料-2 (応募技術の計測の原理や精度とその根拠を記した技術資料)						
添付資料-3	添付資料-3 (特許等の公開・公告された写し: 特許等を取得している場合は必ず添付→添付できない場合はその理由を記入)						
添付資料-4	※1 特許等の公開・公告された写しの資料については、公開特許公報のフロントページ(特許番号、発明の名称が記載されているページ)のみとして下さい。						
添付資料-5	※2 特許の数が多く、10枚に収まらない場合は、応募した技術の中で重要度の高いものについて添付して下さい。						
添付資料-4 (第三者機関等で技術の証明等を受けた場合は、その写し: 第三者機関等で技術の証明等(建設技術審査証明書等)を取得している場合は必ず添付→添付できない場合はその理由を記入) 添付資料-5 (表彰の経歴がある場合、表彰状等の写し: 経歴がある場合は必ず添付→添付できない場合はその理由を記入) ※その他の資料を添付する場合は、添付資料-6から順に添付資料番号をつけ、本欄に追加するものとし、添付資料番号を繰り上げないこと。							
資料を提出しない項目の明示	別紙-1リクワイヤメントに資料の提出を提示した項目で、資料等を提出しない項目(または、様式-4調査票にデータ等を記入しない項目)があれば、その項目を、下記に箇条書きで明示してください。(事務局において提出資料の確認のために使用します。)						

※この様式が1枚に収まらない場合は、複数枚に分割して作成しても構いません。

また、一行に収まらない場合は、行及び行の高さを増やしても構いません。

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

点検(調査)実績内訳書

点検(調査)実績がある場合は、最新の10件までを記入して下さい

公募テーマ名:「補強土壁の点検支援に関する技術」

技術名称:

応募者名:

発注者名称 (国・地方自治体 ・民間等)	実績の業務名称 (実構造物等による試験も可)	実施場所 (〇〇県〇〇市 等)	点検 実施年 (西暦)	点検内容					備考
				補強土壁種別	主な点検項目	延長(m)	壁高(m)	箇所数	

注1)補強土壁以外の実績の場合は、「補強土壁種別」の欄に「-」を記入し、「備考欄」に点検等の対象となった構造物の種別を記入してください。

注2)「試験」の場合は、「実績の業務名称」の欄に試験の概要を記入した上で「備考欄」に「試験」と記入してください。

注3)実績がない場合は、「実績の業務名称」の欄に「実績なし」と記入し、提出して下さい。

注4)「試験のみ」の場合、報告書等を提出してください。

注5)新規構造物に適用が限定される技術は、施工されていれば点検(調査)が未実施でも実績に加えてください。

この時、点検実施年には施工年を記入し、備考に「点検(調査)未実施」と記入してください。

注6)この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

調 査 票

「補強土壁の点検支援に関する技術」

※「A-1」等は、別紙-1「リクワイヤメント」の該当項目

技術名称 (A-1、6) :

(副題) (A-2) :

提出日 : 令和 年 月 日

申請者 (A-3)

所属 :

窓口担当者 :

1. 応募技術の適用する要求性能及びリクワイヤメント①②の共通情報

本項要件 B-1～B-18 は、応募技術が適用する要求性能（リクワイヤメント①、②）の確認と、新技術を活用する際の選定に有用な情報のうち、リクワイヤメント①、②共通の情報を求めるものである。このため、リクワイヤメント①、②のいずれへの応募であっても全ての項目が回答の対象となる。

なお、B-1～B-3 への回答は必須であり、それ以降の回答は応募者において確認できている情報のみを回答するものとする（全ての項目への回答は必須ではない）。ただし、各項目について「空欄」や「無回答」とはせず、「実施データなし」、「定めていない」など、必ず何らかの回答を記載すること。

※該当する選択肢がない場合は追加してよい。なお、その場合は、追加した項目を朱書きとすること。

項目				内容 ※（上書きして黒字で記入すること）	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	適用対象	B-1	要求性能 （リク ワイヤ メン ト）への 適用	どちらのリクワイヤメントに適用する技術か？ <input type="checkbox"/> リクワイヤメント① （C-1、C-2 への回答が必須） <input type="checkbox"/> リクワイヤメント② （D-1 への回答が必須） <input type="checkbox"/> 両方のリクワイヤメントに適用する （C-1、C-2、D-1 への回答が必須）	
		B-2	適用対象	(1)適用可能な補強土壁全てにチェック <input type="checkbox"/> 帯鋼補強土壁 <input type="checkbox"/> アンカー補強土壁 <input type="checkbox"/> ジオテキスタイル補強土壁 <input type="checkbox"/> その他 （上記以外の適用可能な補強土壁を記入） (2)適用可能な補強土壁の条件全てにチェック <input type="checkbox"/> 壁面材がコンクリート製で表面が平滑 <input type="checkbox"/> 壁面材がコンクリート製で表面に凹凸の意匠あり <input type="checkbox"/> 壁面材が鋼製枠 <input type="checkbox"/> その他の壁面材 （適用可能な壁面材を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 補強材が鋼製で帯状または棒状 <input type="checkbox"/> 補強材が鋼製で面（メッシュ）状 <input type="checkbox"/> 補強材が樹脂製で帯状 <input type="checkbox"/> 補強材が樹脂製で面（メッシュ）状 <input type="checkbox"/> その他の補強材 （適用可能な補強材を具体的に記入） <input type="checkbox"/> その他（適用可能な条件を具体的に記入）	

項目			内容 ※（上書きして黒字で記入すること）	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	適用対象	B-3	既設構造物への適用 <input type="checkbox"/> 既設構造物への適用可 <input type="checkbox"/> 既設構造物への適用が条件付きで可（条件：具体的な適用条件を記入） <input type="checkbox"/> 既設構造物への適用不可（施工時に準備が必要なため新設構造物のみ適用可） ※施工時などに予め計器やダミーの補強材等の設置が必要となる技術は、それらの配置に関する資料（配置根拠、配置頻度等）と変状の検出方法に関する資料を提出すること	
	使用機器等	B-4	必要器材 点検に使用する主な機器を記入（3D レーザースキャナー、UAV、ダミーの補強材等を記入、）	
		B-5	必要機材 計測あるいは準備・搬入に必要な主な機材にチェック（複数選択可） <input type="checkbox"/> 不要、 <input type="checkbox"/> クレーン、 <input type="checkbox"/> 高所作業車、 <input type="checkbox"/> 足場 <input type="checkbox"/> その他（必要な機材を具体的に記入）	
	適用条件等	B-6	点検者の資格等 該当する方にチェックし、「要」の場合は点検者に必要な資格・技能を記入 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（具体的に資格または技能を記入）	
		B-7	適用条件①（気象条件） (1)適用可能な気象条件全てにチェック <input type="checkbox"/> 晴れ、 <input type="checkbox"/> 曇り、 <input type="checkbox"/> 小雨（1mm未満/数時間）、 <input type="checkbox"/> 弱い雨（3mm未満/h）、 <input type="checkbox"/> 雨（3以上10mm未満/h）、 <input type="checkbox"/> やや強い雨（10以上～20mm/未満h） <input type="checkbox"/> 小雪（降雨量換算1mm未満/数時間）、 <input type="checkbox"/> 弱い雪（積雪量1cm未満/h）、 <input type="checkbox"/> 風力階級2以下（0～3.3m/s）、 <input type="checkbox"/> 風力階級3（3.4～5.4m/s）、 <input type="checkbox"/> 風力階級4（5.5～7.9m/s） <input type="checkbox"/> その他（上記以外の適用可能な気象条件を具体的に記入） (2)適用可能な気温（該当する方にチェックし、制限がある場合は、その範囲を（ ）内に記入） <input type="checkbox"/> 制限なし、 <input type="checkbox"/> 制限あり（ ~ ℃）	

項目			内容	添付資料 NO. 関連ページ
			※（上書きして黒字で記入すること）	
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	適用条件 等	B-8	適用条件 ②（環境 条件）	
			<p>(1) 搬入路</p> <p>該当する項目全てにチェック</p> <p>①補強土壁上部が道路 （補強土壁上部への搬入）</p> <p><input type="checkbox"/>不要、<input type="checkbox"/>嵩上げ盛土がある場合に必要 （補強土壁前面への搬入）（複数選択可）</p> <p><input type="checkbox"/>不要、<input type="checkbox"/>嵩上げ盛土がない場合に必要 <input type="checkbox"/>嵩上げ盛土がある場合に必要</p> <p>②補強土壁前面が道路 （補強土壁上部への搬入）（複数選択可）</p> <p><input type="checkbox"/>不要、<input type="checkbox"/>嵩上げ盛土がない場合に必要 <input type="checkbox"/>嵩上げ盛土がある場合に必要</p> <p>該当する項目1つにチェック</p> <p>③搬入路の最大通行者</p> <p><input type="checkbox"/>無、<input type="checkbox"/>人、<input type="checkbox"/>軽四、<input type="checkbox"/>普通車、<input type="checkbox"/>2t 車</p> <p>④クレーンによる代替</p> <p><input type="checkbox"/>不要、<input type="checkbox"/>可能、<input type="checkbox"/>不可能</p> <p>(2)必要な空間</p> <p>①用途・理由 （空間の用途、または空間の必要な理由を具体的に記入）</p> <p>②空間が必要な位置全てにチェック</p> <p><input type="checkbox"/>不要、<input type="checkbox"/>補強土壁上、<input type="checkbox"/>補強土壁前、 <input type="checkbox"/>補強土壁の上または前、 <input type="checkbox"/>その他（空間が必要な場所を具体的に記入）</p> <p>③空間の大きさ</p> <p>補強土壁上方： 幅：()m×奥行き：()m×高さ：()m 補強土壁前方： 幅：()m×奥行き：()m×高さ：()m</p> <p>(3)その他地形等による制限 （制限を受ける条件があれば具体的に記入）</p>	

項目			内容	添付資料 NO. 関連ページ
			※（上書きして黒字で記入すること）	
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	適用条件 等	B-9	適用条件 ③（準備 項目） 準備が必要な項目全てにチェック <input type="checkbox"/> 不要、 <input type="checkbox"/> 足場、 <input type="checkbox"/> 除草・伐採： <input type="checkbox"/> 補強土壁上面、 <input type="checkbox"/> 壁面、 <input type="checkbox"/> 壁前の地表面等 <input type="checkbox"/> その他（必要な準備項目を具体的に記入）	
		B-10	適用条件 ④（設備 条件） 点検時に必要な設備全てにチェック <input type="checkbox"/> 不要、 <input type="checkbox"/> 100V 電源、 <input type="checkbox"/> 上水道、 <input type="checkbox"/> その他（必要な設備を具体的に記入） ※発電機、12V バッテリー、給水タンクなど、 点検者が準備するものは除く	
	安全等	B-11	実績 ※様式-2、3へ記入 ※点検等の実績（試験を含む）の有無にかかわ らず、様式-3 に必要事項を記入の上、提出 すること ※「試験のみ」の場合、試験の報告書等を提出 すること	
		B-12	安全上の 留意点 該当する項目全てにチェックし、その他にチ ェックした場合は（ ）内に具体的に記入す ること <input type="checkbox"/> 無、 <input type="checkbox"/> 落下物・飛来物、 <input type="checkbox"/> 墜落・転落、 <input type="checkbox"/> 転倒、 <input type="checkbox"/> 感電、 <input type="checkbox"/> 中毒、 <input type="checkbox"/> 火災、 <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入） ※B-13、B-14 に該当する項目は除く	
		B-13	環境への 影響 該当する項目全てにチェックし、（ ）内にそ の程度を記入すること <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 騒音（おおよその大きさ dB） <input type="checkbox"/> 汚水の排出（おおよその量m ³ ） <input type="checkbox"/> 汚水の排出（回収） <input type="checkbox"/> 廃材の発生（おおよその量m ³ ） <input type="checkbox"/> 廃材の発生（回収） <input type="checkbox"/> その他（具体的に記入）（おおよその量、 単位も記入すること）	

項目			内容 ※（上書きして黒字で記入すること）	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	安全等	B-14	道路への影響 該当する項目にチェックする (1)影響の有無 <input type="checkbox"/> 無 ((2)以降回答不要) <input type="checkbox"/> 有 ((2)以降へ) (2)影響する道路の位置（複数選択可） <input type="checkbox"/> 補強土壁の上、 <input type="checkbox"/> 補強土壁の前 (3)規制の必要な時期（複数選択可） <input type="checkbox"/> 準備時、 <input type="checkbox"/> 点検時、 <input type="checkbox"/> 撤収時 (4)影響範囲（最も近いものを選択） <input type="checkbox"/> 歩道、 <input type="checkbox"/> 歩道+路肩、 <input type="checkbox"/> 歩道+路肩+1車線、 <input type="checkbox"/> 2歩道+路肩+2車線以上 ※嵩上げ盛土の有無、大きさにより影響する範囲が変わる場合は、最大となる影響範囲を選択 ※影響する範囲において影響する道路が補強土壁の上と前の両方となる場合は、影響する範囲の大きい方を選択	
		B-15	届出等 該当する方にチェックし、「要」の場合は届出先と届出書類名を記入すること <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（届出先：具体的に記入） （書類名：具体的に記入）	
	経済性情報	B-16	人工数 （計測に必用な最少人工数人）	
		B-17	作業時間 該当する方にチェックし、（ ）内に必用事項を記入すること (1) <input type="checkbox"/> 1壁当たり、 <input type="checkbox"/> 1箇所（部分）当たり (2)現地（現地での作業時間を記入時間） (3)内業（内業の時間を記入時間） (4)合計（ 1）+ 2）を記入時間 ※内業は特定土工点検の様式記入完了（解析や写真整理等も含む）まで ※移動・運搬、除草・伐採等は含まない	

項目			内容	添付資料 NO. 関連ページ	
			※（上書きして黒字で記入すること）		
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ① ② 共 通	経済性情 報	B-17	作業時間	※補強土壁全体ではなく、箇所ごととなる場合は1箇所あたりの所要時間とすること (5)作業工程（作業順に箇条書き） ①現地（準備から撤収まで） （ ）が足りない場合は追加可（ ） （ ） （ ） （ ） ②内業（特定土工点検の様式記入完了まで） （ ）が足りない場合は追加可（ ） （ ） （ ） （ ）	
		B-18	概算費用	該当する方にチェックし、（ ）内に概算費用を記入すること (1)□ 1壁当たり、□ 1箇所（部分）当たり (2)（概算費用を記入千円） ※総額を記入 ※一般管理費、消費税を除く ※補強土壁全体ではなく、箇所(部分)ごととなる場合は箇所単価とすること ※内訳書、単価表を提出すること	

2. 技術選定要件を満足することが確認できる情報及び対象技術を活用する上で有用となる情報

本項 C-1～C-5 及び D-1～D-8 は、応募技術が技術選定要件（要求性能：リクワイヤメント①、②）を満足することを確認する項目（C-1、C-2、D-1）と、新技術を活用する上で有用な参考情報を求めるものであり、応募者において確認できている情報のみを回答するものとする（全ての項目への回答は必須ではない）。なお、各項目について「空欄」や「無回答」とはせず、「実施データなし」、「定めていない」など、必ず何らかの回答を記載すること。ただし、C-1、C-2、D-1 は応募するリクワイヤメントに応じて回答は必須となる。

回答は、リクワイヤメント①への応募は C-1～C-5、リクワイヤメント②への応募は D-1～D-8、両方のリクワイヤメントを満足する技術の応募の場合は全てが対象となる。

※該当する選択肢がない場合は追加してよい。なお、その場合は、追加した項目を朱書きとすること。

項目			内容 ※（上書きして黒字で記入すること）	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ①	技術選定 要件	C-1	応募技術に対する要求項目（リクワイヤメント①） 適用可能な項目全てにチェック <input type="checkbox"/> 1)個々の壁面材の変位が計測可能 <input type="checkbox"/> 2)線的あるいは面的な計測結果として把握が可能 <input type="checkbox"/> 3)経時的な変化を把握可能 <input type="checkbox"/> 4)近接目視に比べて合理化が可能 ※全てにチェックが記されない技術は公募の対象外	
		C-2	適用可能な補強土壁の確認（リクワイヤメント①） 適用可能な補強土壁全てにチェック <input type="checkbox"/> 1)植生された壁面の補強土壁 <input type="checkbox"/> 2)表面に凹凸の意匠があるパネルの補強土壁 <input type="checkbox"/> 3)壁高が 10m以上の補強土壁 <input type="checkbox"/> 4)隅角部や曲線部を複数含む複雑な平面形状の補強土壁 <input type="checkbox"/> 5)補強土壁の前面に点検者が立ち入れない補強土壁 <input type="checkbox"/> 6)前面に障害物のある補強土壁 ※1つ以上にチェックのない技術は公募の対象外	

項目			内容	添付資料 NO. 関連ページ																									
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ①	リクワイヤメント ①に関する性能	C-3	計測項目の確認 適用する計測項目全てにチェックし、その他にチェックした場合は () 内に具体的に記入すること <table border="1"> <tr> <td>壁面</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1)壁面のはらみ・傾斜</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">壁面材</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2)壁面材の変形 (座屈等)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3)壁面材のズレ (前後)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4)壁面材の段差 (上下)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5)壁面材の目地間隔</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">笠コン</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6)笠コンの段差</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7) 笠コンの前後のズレ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地表面</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>8)嵩上げ盛土の表面形状</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>9)基礎地盤の地表面の形状</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>10)その他 (具体的に記入、複数可)</td> </tr> </table> <p>※1)を含めた1つ以上にチェックのない技術は公募の対象外</p>	壁面	<input type="checkbox"/>	1)壁面のはらみ・傾斜	壁面材	<input type="checkbox"/>	2)壁面材の変形 (座屈等)	<input type="checkbox"/>	3)壁面材のズレ (前後)	<input type="checkbox"/>	4)壁面材の段差 (上下)	<input type="checkbox"/>	5)壁面材の目地間隔	笠コン	<input type="checkbox"/>	6)笠コンの段差	<input type="checkbox"/>	7) 笠コンの前後のズレ	地表面	<input type="checkbox"/>	8)嵩上げ盛土の表面形状	<input type="checkbox"/>	9)基礎地盤の地表面の形状	その他	<input type="checkbox"/>	10)その他 (具体的に記入、複数可)	
		壁面	<input type="checkbox"/>	1)壁面のはらみ・傾斜																									
		壁面材	<input type="checkbox"/>	2)壁面材の変形 (座屈等)																									
<input type="checkbox"/>	3)壁面材のズレ (前後)																												
<input type="checkbox"/>	4)壁面材の段差 (上下)																												
<input type="checkbox"/>	5)壁面材の目地間隔																												
笠コン	<input type="checkbox"/>	6)笠コンの段差																											
	<input type="checkbox"/>	7) 笠コンの前後のズレ																											
地表面	<input type="checkbox"/>	8)嵩上げ盛土の表面形状																											
	<input type="checkbox"/>	9)基礎地盤の地表面の形状																											
その他	<input type="checkbox"/>	10)その他 (具体的に記入、複数可)																											
C-4	実点検時の計測精度	該当する項目にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること (1)前提条件 <input type="checkbox"/> 実点検時の計測密度 (レーザースキャナー等) (1点以上/性能を示す数字を記入mm ²) <input type="checkbox"/> 実点検時の地上画素寸法 (分解能) (写真計測等) (性能を示す数字を記入mm/px) <input type="checkbox"/> その他 (性能を示す数字とその単位を記入)																											
C-5	C-4の計測精度で実計測が可能な範囲	該当する方にチェックし、()内に必要事項を記入すること ※繰返し:繰返し計測を行うことで計測精度が上がり、計測範囲の拡大が可能な場合に記入 (1)壁高または仰俯角 <input type="checkbox"/> 移動しながら計測するために制限なし <input type="checkbox"/> 壁高 (非繰返し:計測可能高さを記入m) (繰返し:計測可能高さを記入m)																											

項目				内容	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ①	リクワイ ヤメント ①に關す る性能	C-5	C-4 の計測 精度で実計 測が可能な 範囲	<p>※（上書きして黒字で記入すること）</p> <p>□仰俯角 （非繰返し：計測可能範囲を記入○° ～●°） （繰返し：計測可能範囲を記入－△°～ ▲°） ※俯角をマイナスとする</p> <p>(2)計測対象からの距離 （非繰返し：計測可能距離を記入○～●m） （繰返し：計測可能距離を記入△～▲m）</p>	

項目			内容	添付資料 NO. 関連ページ
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ②	技術選定 要件	D-1	<p>応募技術に対する要求項目（リクワイヤメント②）</p> <p>適用する項目全てにチェック</p> <p><input type="checkbox"/> 1) 引抜き抵抗力の異常を検知する技術</p> <p><input type="checkbox"/> 2) 部材（補強材、壁面材、補強材と壁面材の接続部材）の応力の計測や応力分布を把握する技術</p> <p><input type="checkbox"/> 3) 表面（壁面及び補強土壁上面）から部材の状態（補強材・接続金具の腐食・劣化・破断及び延びや曲がり、ボルト・ボルト穴の変形や補強材のぶら下がり等の変状の程度）を確認する技術</p> <p>※ファイバースコープなどの既存の技術は、微（非）破壊であっても新技術ではないため、公募の対象外とする</p> <p><input type="checkbox"/> 4) 表面（壁面及び補強土壁上面）から補強領域内における盛土の動き、それによるゆるみの位置や規模、分布等が把握できる技術、又は任意の位置（深さ）における盛土の状態（盛土材料、密度、強度、含水状態等）やそれらの分布を把握できる技術</p> <p><input type="checkbox"/> 5) 表面（壁面及び補強土壁上面）から補強材や壁面背面排水層の影響を受けずに補強領域内の任意の位置における空洞の有無と規模を把握する技術</p> <p>※点検支援技術であり大掛かりな調査は対象とせず非破壊を前提とする。ただし、強度及び耐久性に影響しないことを前提に微破壊についても認める。なお、修復方法や強度及び耐久性に影響しないことを記した資料の提出を求める場合がある</p>	

項目			内容	添付資料 NO.		
			※（上書きして黒字で記入すること）	関連ページ		
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ②	リクワイヤメント ②に関する性能	D-2	任意の箇所 の計測 または把握 が可能 か	D-1 でチェックした全ての番号の欄の該当する項目にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること		
				1)	<input type="checkbox"/> 任意の箇所の計測または把握が可能 <input type="checkbox"/> 条件により任意の箇所の計測または把握が可能 （条件を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 特定の箇所の計測または把握のみ可能 （特定の箇所を具体的に記入）	
				2)	<input type="checkbox"/> 任意の箇所の計測が可能 <input type="checkbox"/> 条件により任意の箇所の計測が可能 （条件を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 特定の箇所の計測のみ可能 （特定の箇所を具体的に記入）	
				3)	<input type="checkbox"/> 任意の箇所の計測または把握が可能 <input type="checkbox"/> 条件により任意の箇所の計測または把握が可能 （条件を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 特定の箇所の計測または把握のみ可能 （特定の箇所を具体的に記入）	
				4)	<input type="checkbox"/> 任意の箇所の計測または把握が可能 <input type="checkbox"/> 条件により任意の箇所の計測または把握が可能 （条件を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 特定の箇所の計測または把握のみ可能 （特定の箇所を具体的に記入）	
			5)	<input type="checkbox"/> 任意の箇所の計測または把握が可能 <input type="checkbox"/> 条件により任意の箇所の計測または把握が可能 （条件を具体的に記入） <input type="checkbox"/> 特定の箇所の計測または把握のみ可能 （特定の箇所を具体的に記入）		

項目		内容 ※（上書きして黒字で記入すること）		添付資料 NO. 関連ページ			
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ②	リクワイヤメント②に関する性能	D-3	実調査時の計測精度（最小計測値）	D-1 でチェックした全ての番号の欄に計測可能な最小値を記入（要単位） ※D-1 の1）、3）～5）は計測を行う場合のみ（計測を行わない場合は「-」を記入）			
				1)	（最小計測値及びその単位を記入）		
				2)	（最小計測値及びその単位を記入）		
				3)	（最小計測値及びその単位を記入）		
				4)	（最小計測値及びその単位を記入）		
				5)	空洞の奥行き（最小計測値と単位） 空洞の幅（最小計測値と単位を記入） 空洞の高さ（最小計測値と単位）		
			D-4	計測値	D-1 でチェックした全ての番号の欄の該当する項目にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること ※換算値はまたは解析値の場合は、換算等の根拠を示す資料を提出すること		
					1)	<input type="checkbox"/> 実測値 <input type="checkbox"/> 換算値または解析値 （何のデータからの換算かを記入） <input type="checkbox"/> 計測は行わない	
					2)	<input type="checkbox"/> 実測値 <input type="checkbox"/> 換算値または解析値 （何のデータからの換算かを記入）	
					3)	<input type="checkbox"/> 実測値 <input type="checkbox"/> 換算値または解析値 （何のデータからの換算かを記入） <input type="checkbox"/> 計測は行わない	
					4)	<input type="checkbox"/> 実測値 <input type="checkbox"/> 換算値または解析値 （何のデータからの換算かを記入） <input type="checkbox"/> 計測は行わない	
			5)	<input type="checkbox"/> 実測値 <input type="checkbox"/> 換算値または解析値 （何のデータからの換算かを記入） <input type="checkbox"/> 計測は行わない			

項目			内容 ※（上書きして黒字で記入すること）	添付資料 NO. 関連ページ	
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ②	クワイヤ メント② に関する 性能	D-5	加工・微 破壊の程 度	(1)該当する方にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること <input type="checkbox"/> 非破壊（(2)への回答は不要） <input type="checkbox"/> 加工及び微破壊が必要（(2)へ） （加工・微破壊の概要を記入） （加工・微破壊の程度を記入） ※加工・微破壊が必要な場合は程度のわかる写真や図を提出すること	
				(2)該当する項目にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること <input type="checkbox"/> 修復が可能（元通りに直すことが可能） （修復方法の概要を記入） <input type="checkbox"/> 補修が可能（元通りには直せないが機能の回復は可能） （補修方法の概要を記入） <input type="checkbox"/> 修復も補修もできない	
		D-6	経過観 察	該当する項目にチェックし、カッコ内に必要事項を記入すること <input type="checkbox"/> モニタリング（連続または定期的に自動計測） <input type="checkbox"/> 繰返し計測（定期的に計測） <input type="checkbox"/> その他 （具体的な方法を記入） <input type="checkbox"/> 経過観察はできない(D-7、8の回答は不要)	
		D-7	耐久性	現地に設置したままとなる機器の耐久性について、（ ）内に必要事項を記入すること ※該当機器が複数ある場合は、必要分コピーして記入すること （機器の名称）、（おおよその使用可能年月）、 （使用可能年月を確認した方法）	

項目				内容	添付資料 NO. 関連ページ
				※（上書きして黒字で記入すること）	
リ ク ワ イ ヤ メ ン ト ②	リクワイヤメント ②に関する性能	D-8	経過観測時の費用	<p>該当する項目にチェックし、（ ）内に概算費用を記入すること</p> <p>(1)観測範囲</p> <p><input type="checkbox"/> 1 壁当たり、<input type="checkbox"/> 1 箇所（部分）あたり</p> <p>(2)経過観測の費用</p> <p><input type="checkbox"/> 連続または定期的に自動計測 （概算費用を記入千円／月）</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に計測 （概算費用を記入千円／回）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 （概算費用を記入千円／<input type="checkbox"/>月、<input type="checkbox"/>回）</p> <p>※一般管理費、消費税を除く</p> <p>※補強土壁全体ではなく、箇所ごととなる場合は箇所単価とすること</p>	